

「第1次大戦と日本」

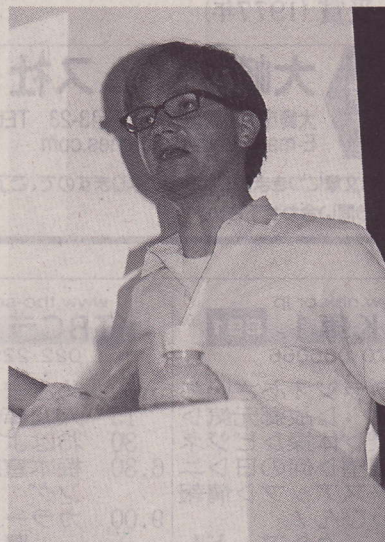
吉野ネットワーク
人材育成研修会

シュミット氏(ドイツの
大学講師)が講演

吉野作造記念館の第7回吉野ネットワーク交流事業人材育成研修会が8月30日から9月1日まで同記念館で開かれ、初日は「第1次世界大戦下における日本の戦争経験と将来に

対する期待」と題し、フォーラム大(ドイツ)のヤン・シュミット専門講師が基調講演を行った。

全国的に顕彰しようと開かれ、「読売・吉野作造賞」受賞者の大学教授ら8人、東北大や京都大などから学生15人が参加した。基調講演でシュミット専門講師は、日本の



新聞の購読率の高さや、ヨーロッパから写真や記録映画などが多数もたらされ、日本人

が目にしてきた事実を紹介し、「日本人は戦争をよく知っていたが、大戦後の論調のべ

基調講演を行うシュミット専門講師

.....
ースとなったのは、こうしたメディアを媒介したイメーজだった」と指摘した。

31日には研究者の講義や研究書の読書会、最終日には公開ディスカッションが行われ、3日間の研修を締めくくった。